

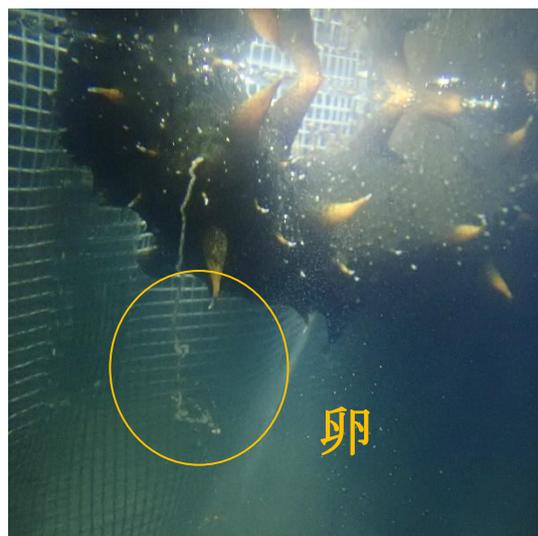
令和2年クロナマコの種苗生産

今年もコロナ禍のなか、クロナマコ種苗生産を実施しました。開始時は休校中だったため、生徒に孵化幼生など初期の発生を直接見せられませんでした。学校再開後の9月16日、孵化から約5か月経ち、大きくなったナマコを波板という付着板から剥離し、大きさ別に選別する作業を実習内で行いました。

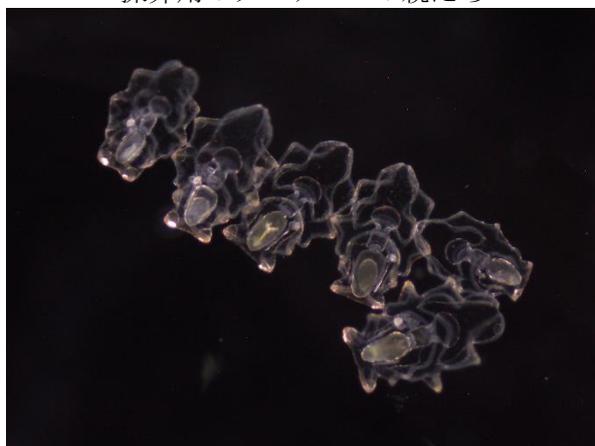
そして10月3日、親ナマコがいる神奈川県三浦市金田の磯に漁師さんと有志生徒で放流しました。



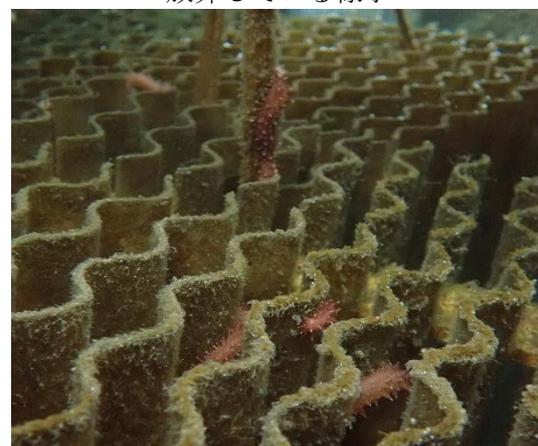
採卵用のクロナマコの親たち



放卵している様子



クロナマコの幼生 (アウリクラリア幼生)



波板上で成長した稚ナマコたち



生徒と漁師さんと一緒に放流



少しずつ丁寧に放流しました